

中間市立病院廃止に反対し、地方独立行政法人化
による公立病院としての存続を求める請願書

中間市議会議長 下川 俊秀 様

請願者 これからの中間市を考える市民の会

世話人代表

岡部 謙治 (岡部)

紹介議員

寺田 明美 (寺田)

植本 種實 (植本)

小林 信一 (小林)

山本 慎悟 (山本)

坂田 克也 (坂田)

件名 中間市立病院廃止に反対し、地方独立行政法人化による公立病院としての存続を
求める請願

趣旨 中間市政の最上位の計画である第4次中間市総合計画、それに伴う令和元年度から令和3年度の実施計画では、地域の拠点病院として、安全で安心できる効率的な医療を提供し、地域住民に信頼される病院づくりに努めると明記されています。中間市立病院あり方検討委員会は2019年9月、経営形態を現在の直営から地方独立行政法人化を答申しました。その理由は「人員確保について処遇面で創意工夫が可能となることや給与設定において柔軟な対応ができること、経営改善にも直結できる経営形態であり、かつ公立病院だからこそ信頼される側面もあることから、市立病院としての特性を強く残すことができる地方独立行政法人化が望ましい」というものです。

ところが中間市は財政難を理由に、市立病院を支援できない、市立病院の果たしてきた役割を残すためと、一方的に民間移譲を発表しました。しかし移譲先の秋桜会新中間病院との統合交渉は破綻しました。民間移譲が無くなつたいま、中間市民の安全安心の医療供給体制の維持発展のため、地方独立行政法人化による市立病院の存続を求めます。